

1 宮古市教育委員会の事務に関する点検・評価について

(1) 趣旨

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、令和6年度（2024年度）に宮古市教育委員会が取り組んだ事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、課題や取り組みの方向性を明らかにするものです。

点検及び評価については、その結果を市議会に提出するとともに、市民に公表し、効果的で開かれた教育行政の推進を図ります。

(2) 点検・評価の対象

宮古市総合計画（前期基本計画）では、教育に関する基本施策として「郷土を誇り次代につなぐひとづくり」を掲げており、これを推進するため施策の体系を「学校教育の充実」、「生涯学習の推進」、「スポーツ・レクリエーションの振興」、「文化の振興」としています。

また、「郷土を誇り次代につなぐひとづくり」を推進するための教育行政における具体的施策を示した「宮古市教育振興基本計画（2020-2024）」においても同様の施策の体系としています。

本報告書では、教育委員会の活動状況及び「宮古市教育振興基本計画（2020-2024）」に基づき実施した主な事務事業の執行状況を点検及び評価の対象としています。

(3) 点検・評価の方法

令和6年度（2024年度）の主要な事務事業の点検及び評価を教育委員会事務局内で行ったうえで、教育に関し学識経験を有する4人の方から外部の視点によるご意見を伺いました。

氏 名	所属名
北田 正	宮古地区退職校長会
井川 由貴子	宮古市社会教育委員
長塚 奉司	宮古市スポーツ推進審議会
佐々木 信一	宮古市文化財保護審議会

参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)(抜粋)

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(4) 点検・評価の構成

ア 施策

宮古市教育振興基本計画（2020-2024）における「1 学校教育の充実」、「2 生涯学習の推進」、「3 スポーツ・レクリエーションの振興」、「4 文化の振興」の4つの施策です。

イ 基本事業

宮古市教育振興基本計画（2020-2024）における22の基本事業で、詳細は次のページに記載しています。

ウ 施策・基本事業の方向

施策・基本事業の基本方向を記載しています。

エ 事務事業費

事業全体の決算見込額を円単位で記載しています。

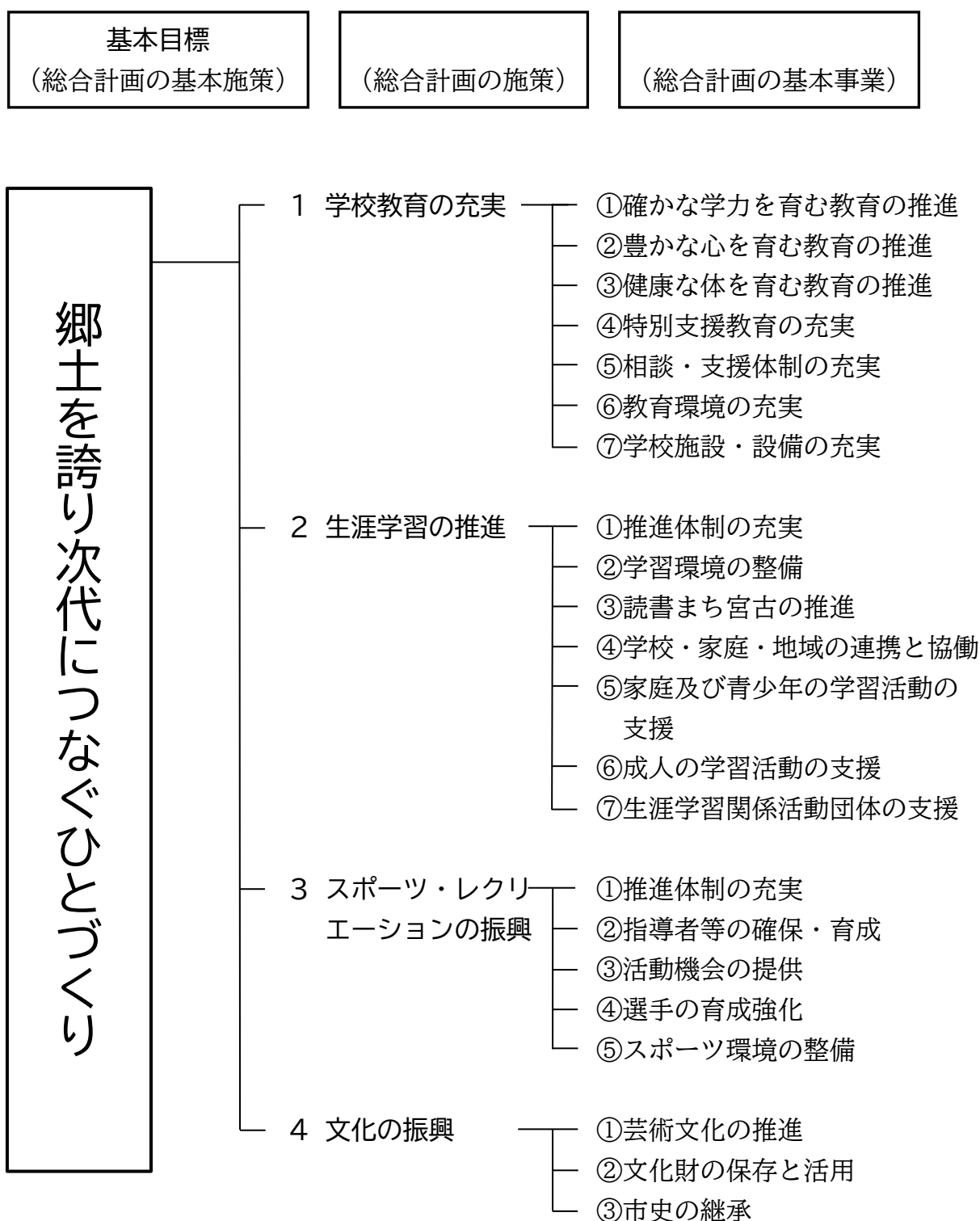
オ 活動実績・成果

主な活動実績を記載しています。

カ 施策の総括

施策の事業ごとに評価の総括を記載しています。

(5) 宮古市教育振興基本計画（2020-2024）・施策の体系



2 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会について

教育委員会は、地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を管理及び執行する行政委員会です。市長からは独立した合議制の執行機関です。

(2) 教育委員会の組織

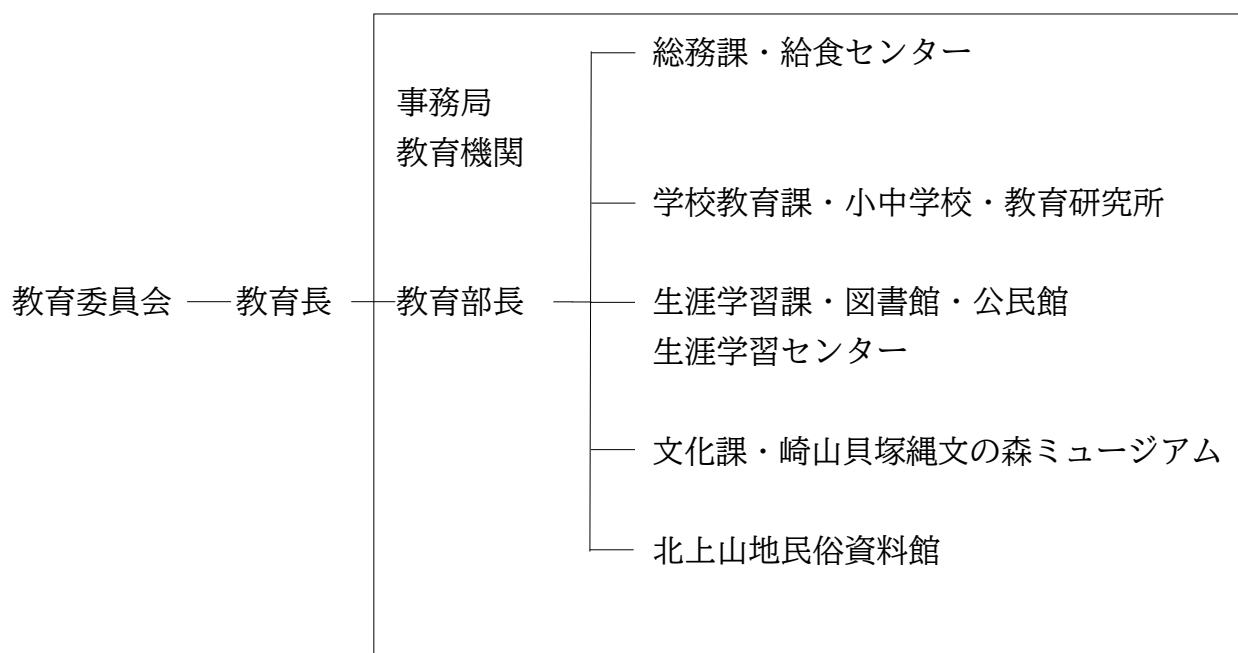
宮古市教育委員会は、教育長と4人の教育委員で組織されています。

教育長及び教育委員は、人格が高潔で、教育、学術、文化等に関して識見を有する者を市長が市議会の同意を得て任命します。

教育長の任期は3年、教育委員の任期は4年で、再任されることもあります。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。

また、教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどり、統括し、所属の職員を指揮監督します。



(3) 教育委員会委員の構成（令和6年度）

職名・氏名	委員としての任期	教育長任期 (教育長職務代理者任期)
教育長 伊藤 晃二	—	令和5年8月30日から 令和8年8月29日まで
教育長職務代理者 荒谷 榮子	令和3年8月30日から 令和7年8月29日まで	令和3年8月30日から 次の職務代理者が指名されるまで
委 員 平井 亮吉	令和2年8月30日から 令和6年8月29日まで 令和6年8月30日から 令和10年8月29日まで	—
委 員 杉本 裕樹	令和4年8月30日から 令和8年8月29日まで	—
委 員 大村 光代	令和5年8月30日から 令和9年8月29日まで	—

(4) 総合教育会議の開催状況及び審議内容

総合教育会議は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、平成27年度から設置しています。

期 日	会 場	議 題
令和6年10月3日(金)	市民交流センター2階 多目的ホール	宮古市教育大綱について

(5) 教育委員会会議の開催状況及び審議内容

教育委員会会議は、原則として毎月1回定例会を開催し、その他必要の都度臨時会を開催しています（令和6年度は、定例会12回、臨時会3回の計15回開催）。

【4月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
4月26日	市役所4階 特別会議室	議案第1号	宮古市教育支援委員会の委員の解任の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第2号	宮古市教育支援委員会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第3号	宮古市社会教育委員の解任の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第4号	宮古市社会教育委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第5号	宮古市スポーツ推進審議会の委員の解任の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第6号	宮古市スポーツ推進審議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第7号	宮古市北上山地民俗資料館運営委員会の委員の解任の臨時専決処理に関し承認を求め	承認

			ることについて	
		議案第8号	宮古市北上山地民俗資料館運営委員会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第9号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の委員の解任の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第10号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第1号	令和5年度第2回宮古市社会教育委員会議の会議結果について	—
		報告第2号	令和5年度第2回宮古市立図書館協議会の会議結果について	—
		報告第3号	令和5年度第3回宮古市部活動地域移行検討委員会の会議結果について	—

【5月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
5月27日	市役所4階 特別会議室	議案第11号	宮古市学校運営協議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第12号	宮古市教育振興基本対策審議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第4号	宮古市野外活動センター運営協議会の委員の解任及び任命について	—

【6月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
6月25日	市役所4階 特別会議室	議案第13号	令和6年度宮古市一般会計補正予算（第4号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第14号	宮古市教育振興基本対策審議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第5号	宮古市議会定例会令和6年6月定例会議一般質問に係る答弁について	—
		報告第6号	宮古市立図書館資料選定委員会の委員の委嘱について	—

【7月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
7月24日	市役所4階 特別会議室	議案第15号	宮古市立図書館協議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第7号	第1回宮古市教育振興基本対策審議会の会議結果について	—
		報告第8号	令和6年度第1回宮古市社会教育委員会議会の会議結果について	—
		報告第9号	令和6年度第1回宮古市スポーツ推進審議会の会議結果について	—
		報告第10号	第4回宮古市部活動地域移行検討委員会の会議結果について	—

【8月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
8月27日	市役所4階 特別会議室	議案第16号	宮古市教育振興基本対策審議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第17号	共同調理場の廃止に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第18号	令和7年度使用教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第19号	宮古市文化財保護審議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第20号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第11号	令和6年度宮古市北上山地民俗資料館運営委員会の会議結果について	—

【9月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
9月26日	市役所4階 特別会議室	議案第21号	令和6年度宮古市一般会計補正予算（第9号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第22号	令和5年度宮古市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価の実施に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第23号	宮古市就学援助事業実施要綱の一部を改正する告示	原案可決
		議案第24号	宮古市社会教育委員の解任に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第12号	宮古市議会定例会令和6年9月定例会議一般質問に係る答弁について	—

【10月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
10月22日	崎山公民館 多目的ホール	議案第25号	宮古市学校給食の実施に関する規則の一部を改正する規則	原案可決

【11月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
11月20日	市役所 4 階 特別会議室	議案第26号	宮古市医療的ケア児受け入れガイドラインの策定に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第27号	宮古市図書館条例施行規則の一部を改正する規則	原案可決
		報告第13号	第1回宮古市文化財保護審議会の会議結果について	—
		報告第14号	令和6年度宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の会議結果について	—

【12月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
12月20日	市役所 4 階 特別会議室	議案第28号	令和6年度宮古市一般会計補正予算（第13号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第29号	令和6年度宮古市一般会計補正予算（第14号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		報告第15号	宮古市議会令和6年12月定例会議一般質問に係る答弁について	—
		報告第16号	宮古市立学校給食センター調理業務等委託者選定委員会の会議結果について	—
		報告第17号	令和6年度第1回宮古市立図書館協議会の会議結果について	—

【1月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
1月17日	市役所 5 階 5-3会議室	議案第30号	宮古市立学校の廃止に関し議決を求めることについて	原案可決

【2月臨時会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
2月4日	市役所 4 階 特別会議室	議案第31号	令和7年度宮古市教育行政方針に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第32号	令和7年度宮古市教育行政施策の方針と重点に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第33号	令和7年度宮古市一般会計予算（教育関連予算）に関し議決を求めることについて	原案可決

【2月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
2月25日	市民交流センター 会議室3	議案第34号	令和6年度宮古市一般会計補正予算（第16号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第35号	宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会要綱	原案可決
		議案第36号	宮古市教育振興基本計画の策定に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第18号	第2回宮古市文化財保護審議会の会議結果について	—

【3月臨時会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
3月7日	市役所4階 特別会議室	議案第37号	令和7年度宮古市立小・中学校長等の人事の内申に関し議決を求めることについて	原案可決

【3月臨時会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
3月14日	市役所4階 特別会議室	議案第38号	教育委員会事務局職員等の人事異動に関し議決を求めることについて	原案可決

【3月定例会】

期 日	会 場	議案／報告	件 名	審議結果
3月26日	市役所4階 特別会議室	議案第39号	教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第40号	宮古市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第41号	宮古市教育財産管理規則及び宮古市立学校教員住宅規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第42号	宮古市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則等の一部を改正する規則	原案可決
		議案第43号	宮古市教育委員会代決専決規程及び教育長の権限に属する事務の委任等に関する規程の一部を改正する訓令	原案可決
		議案第44号	宮古市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令	原案可決
		議案第45号	宮古市教育委員会安全衛生管理規程及び宮古市立学校職員の服務規程の一部を改正する訓令	原案可決
		議案第46号	宮古市就学援助事業実施要綱の一部を改正する告示	原案可決
		議案第47号	宮古市いじめ問題対策委員会の委員を任命することに関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第19号	宮古市議会令和7年3月定例会議一般質問に係る答弁について	—

(6) 教育委員会に係る条例、規則及び訓令の制定及び改正について

令和6年度における教育委員会に係る条例、規則及び訓令の改正は、下記のとおりです。

【条例改正】

公布年月日	条例番号	件 名
令和6年6月24日	宮古市条例第23号	宮古市教育振興基本対策審議会条例の一部を改正する条例
令和6年10月11日	宮古市条例第28号	宮古市都市公園条例の一部を改正する条例について
令和6年10月11日	宮古市条例第29号	宮古市学校給食の実施に関する条例の一部を改正する条例
令和7年3月31日	宮古市条例第14号	宮古市立学校条例の一部を改正する条例

【規則改正】

公布年月日	規則番号	件 名
令和6年10月24日	宮古市教育委員会規則第3号	宮古市学校給食の実施に関する規則の一部を改正する規則
令和6年11月22日	宮古市教育委員会規則第4号	宮古市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則
令和7年3月31日	宮古市教育委員会規則第1号	宮古市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則
令和7年3月31日	宮古市教育委員会規則第2号	宮古市教育財産管理規則及び宮古市立学校教員住宅規則の一部を改正する規則
令和7年3月31日	宮古市教育委員会規則第3号	宮古市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則等の一部を改正する規則

【訓令改正】

公布年月日	条例番号	件 名
令和7年3月31日	宮古市教育委員会訓令第1号	宮古市教育委員会代決専決規程及び教育長の権限に属する事務の委任等に関する規程の一部を改正する訓令
令和7年3月31日	宮古市教育委員会訓令第2号	宮古市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令
令和7年3月31日	宮古市教育委員会訓令第3号	宮古市教育委員会安全衛生管理規程及び宮古市立学校職員の服務規程の一部を改正する訓令

3 施策別の主要事務の点検、評価

1 学校教育の充実

- ①確かな学力を育む教育の推進
- ②豊かな心を育む教育の推進
- ③健康な体を育む教育の推進
- ④特別支援教育の充実
- ⑤相談・支援体制の充実
- ⑥教育環境の充実
- ⑦学校施設・設備の充実
- ※学校教育の充実の総括

2 生涯学習の推進

- ①推進体制の充実
- ②学習環境の整備
- ③読書まち宮古の推進
- ④学校・家庭・地域の連携と協働
- ⑤家庭及び青少年の学習活動の支援
- ⑥成人の学習活動の支援
- ⑦生涯学習関係活動団体の支援
- ※生涯学習の推進の総括

3 スポーツ・レクリエーションの振興

- ①推進体制の充実
- ②指導者等の確保・育成
- ③活動機会の提供
- ④選手の育成強化
- ⑤スポーツ環境の整備
- ※スポーツ・レクリエーションの振興の総括

4 文化の振興

- ①芸術文化の推進
- ②文化財の保存と活用
- ③市史の継承
- ※文化の振興の総括

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	①	確かな学力を育む教育の推進	学校教育課
施策・基本事業の方向 ・学習の基盤をつくるため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、幼・小・中が連携しながら「確かな学力」を育む教育を推進します。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			27,673,556 円
活動実績・成果			
[教育研究所運営事業] 10,584,968 円 ・学校との連携を進め、教育課程や教材、教育指導技術等の調査研究を行い、教職員の資質向上を図った。教育研究所研究発表会において、実践の成果を各校に広めることができた。			
[学力向上事業] 14,718,312 円 ・教員の指導力向上と児童生徒の学力向上を図るため、小中学校において教育研究、学力検査、調査研究等を行った。また、指導力向上を図るための研修会等を実施した。 ・小学生の学力向上のため放課後学習支援員を3人配置して、市内全13校の小学校にて放課後の学習支援を行った。			
[総合学習推進事業] 2,370,276 円 ・各学校の特色ある教育活動を通じて、児童生徒が自ら考え行動する力の育成を図った。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	②	豊かな心を育む教育の推進	学校教育課
施策・基本事業の方向 ・ふるさと宮古に誇りを持ち、他人と協調し相手を思いやり、感謝する気持ち等「豊かな心」を育む教育を推進します。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			72,432,022 円
活動実績・成果			
[国際理解推進事業] 24,750,000 円 ・小中学校にALTを5人派遣し、言語や文化に対する理解を深めるとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと等について、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育むことができた。			
[キャリア教育事業] 1,721,299 円 ・水産課と連携し、「宮古の漁業見学・体験」を実施し、地元産業への理解を深めることができた。			
[子ども読書活動支援事業] 34,462,564 円 ・学校図書館支援員を11人配置し、小中学校図書館の環境整備、学校が行う図書関連行事、読書に関する啓発活動等を行い、児童生徒の読書に対する意識を高めることができた。			
[ニュートンスクール（新教育プラン）事業] 281,584 円 ・お茶の水女子大学露久保先生他6名を講師として、実験や体験活動を行った。宮古市内の小学生53名が参加し、自然科学分野に関する興味関心が向上した。			
[友好都市等交流事業] 5,508,779 円 ・「多良間村交流事業」では児童生徒の相互訪問、「黒石市児童交流事業」、「大仙市生徒交流事業」、「室蘭市生徒交流事業」では、宮古市児童又は生徒の派遣を行った。交流学习や体験活動を通じて互いの郷土について相互理解を図ることができた。			
[防災教育・復興教育推進事業] 5,707,796 円 ・「いわての復興教育」プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の3つの教育的価値を関連付けた活動をとおして、改めて自分の郷土のことを見つめ直した。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	③	健康な体を育む教育の推進	学校教育課、教委総務課
施策・基本事業の方向 ・生涯を通じて活力ある生活を送る基礎となる「健康な体」を育む教育を推進します。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			579,479,757 円
活動実績・成果			
[宮古・JHSパワーアップ事業] 3,082,330 円 ・中学校の部活動において、スクールバスの運行及び会場使用料を支援することにより、複数校での活動を推進し、適正人数に満たない部活動の活性化及び合同練習による技術等の向上を図った。			
[保健事業] 25,604,572 円 ・児童生徒の健康管理のため、定期健康診断を実施した。 ・教職員の健康管理のため、定期健康診断、ストレスチェック等を実施した。 ・市内全小中学校で、学校歯科医の指示書のもと、安全に配慮しながらフッ化物洗口事業を実施した。			
[学校給食] 550,792,855 円 ・給食食材の地産地消に取り組み、安全・安心な学校給食を提供した。 ・食生活と健康について学びを深めるため、児童生徒を対象に食育指導を行った。 ・児童生徒の学校給食費の無償化に継続して取り組んだ。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	④	特別支援教育の充実	学校教育課
施策・基本事業の方向 ・特別な支援を必要とする子どもに対し、適切な支援体制の継続を図ります。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			126,316,343 円
活動実績・成果			
[幼児言語障害教育事業（ことばの教室）] 10,727,210 円 ・「幼児ことばの教室」において、言語に障害や遅れがある就学前の子どもと保護者を対象に、発音の仕方や発達への不安等について、指導及び相談を行った。 [特別支援教育事業] 115,589,133 円 ・特別な支援が必要な児童生徒が在籍している小中学校に特別支援教育支援員（14校：35人）、介助員（2校：2人）を配置し、学校生活における支援や指導を行った。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑤	相談・支援体制の充実	学校教育課
施策・基本事業の方向 ・いじめや不登校等の事案に対して、関係機関と連携して対応していきます。災害により影響を受けた子どもに対し、長期的な心のケアを継続して行います。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			33,304,469 円
活動実績・成果			
[教育相談事業] 2,796,901 円 ・教育研究所に教育相談員を1人配置し、児童生徒本人や保護者からの相談（電話7件、面接41件、訪問38件）を受けた。児童生徒の状況を細やかに把握することができ、相談事項については、学校訪問を行い指導の状況等を確認し、学校、サーモン教室及びその他関係機関と連携して取り組みを進めた。			
[不登校児童生徒支援事業（サーモン教室）] 10,674,609 円 ・教育研究所内に「サーモン教室」を設置し、教育指導員3人を配置した。通級児童生徒に相談指導を行った。指導主事、学校との連携を図り、児童生徒の現状把握や「サーモン教室」の利用について、一人ひとりに応じた指導を行い、学校復帰や高校進学につなげることができた。			
[学校支援推進事業] 19,832,959 円 ・学校支援員を配置し、学校の事情に応じた学習支援や生徒への対応がきめ細やかに行われ、学校生活の安定や基礎学力の向上に効果があった。 ・部活動指導員を配置し、教職員の勤務負担軽減及び多忙化解消に向けて取り組むことができた。			
[魅力ある学校づくり調査研究事業] ・不登校児童生徒に対する効果的な支援を行うため、市内全校で取り組みを行った。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑥	教育環境の充実	学校教育課
施策・基本事業の方向 ・複雑化、多様化する学校現場の課題解決に向け、保護者や地域が参画するコミュニティ・スクールを支援します。経済的な理由や地理的条件により就学が困難な子どもに対して援助や支援を行います。望ましい学校規模という視点で小中学校を適正に配置し、通学路の安全確保も含め子どもの教育環境の充実に努めます。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			560,727,161 円
活動実績・成果			
[育英事業] 368,810,194 円 ・進学を希望する者に対して奨学資金の貸付けを行った。 [就学援助事業] 26,690,862 円 ・経済的に就学困難な児童生徒の保護者に対して、学校教育法の規定に基づき必要な援助を行った。 [就学事務事業] 924,273 円 ・令和7年度の小学校入学予定者263人に対し、健康診断及び知能検査を実施した。 [特別支援教育就学奨励事業] 1,198,791 円 ・特別支援学級の児童生徒の保護者に対して、その負担能力に応じて必要な経費（学用品費、修学旅行費）の補助を行った。 [コミュニティ・スクール] 248,584 円 ・市内全11中学校区において学校運営協議会を設置した。学校区ごとに年2～3回の協議会を開催し、方針の確認や地域の課題について熟議する場を設けることができた。 [教育助成事業] 7,303,203 円 ・小中学校の文化・体育活動及び教育関係団体の小規模・複式学校教育研究会に対して補助を行った。 ・交通機関利用以外の遠距離通学の児童生徒を持つ家庭に対し、1世帯あたり3万円の助成を行った。 [児童生徒通学委託事業] 155,551,254 円 ・遠距離通学者（通学距離片道4km以上の小学生、片道6km以上の中学生）の利便を図るため、スクールバス、タクシーによる登下校の送迎を実施し、小学生201人、中学生101人が利用した。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑦	学校施設・設備の充実	学校教育課、教委総務課
施策・基本事業の方向 ・子ども一人ひとりの情報活用能力を向上させるため、環境の整備や適切な情報の選択・活用と同時に、犯罪の未然防止に取り組みます。安全で適正な学習環境を確保するため、学校施設の改善を推進します。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			807,219,748 円
活動実績・成果			
[小中学校維持管理事業] 607,408,370 円 ・小中学校施設の維持管理を行うとともに、児童生徒の教育環境の改善を図るため、宮古西中学校バリアフリー改修工事、小中学校防火シャッター等改修工事を行った。			
[教材等整備事業] 63,609,243 円 ・小中学校の消耗品、備品、学校図書、理科教育備品等の教材を整備し、学校教育の充実を図った。			
[教育用コンピュータ整備事業] 136,202,135 円 ・児童生徒の情報教育を推進するため、教育用コンピュータ等の整備を行った。 ・I C T機器の活用に伴い、ネットワーク環境の調査・改善を図った。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	－	－	学校教育課、教委総務課
施策・基本事業の方向 ・感染症対策の一層の徹底と、安心安全な学習環境の整備を目的とし、学校の取り組み状況に合わせ、教室等における効果的な換気の実施に必要となる物品を整備します。 ・教育委員会の活動内容を広く市民に周知するため、宮古市教育委員会だよりを発行します。 ・宮古市の子どもを対象にした「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」を育むために実施する市内で活動する個人、団体等に対し、教育振興基金を活用した「生きる力を育む事業補助金」を交付します。 ・東日本大震災により保護者が死亡し、又は行方不明となった児童生徒に対し、東日本大震災教育支援金を支給します。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			9,768,100 円
活動実績・成果			
[換気対策支援事業] 463,100 円 ・学校における感染症対策の一層の徹底と、安心安全な学習環境の整備を目的として、学校の取り組み状況に合わせ、教室等における効果的な換気の実施に必要となる物品を整備した。			
[広報「宮古市教育委員会だより」の発行] 2,758,800 円 ・宮古市教育委員会だよりは、広報みやこととともに年4回（6月、9月、12月、3月）、市内全世帯に配布し、市ホームページでも発信した。			
[教育振興基金事業「生きる力を育む事業補助金」] 4,101,000 円 ・市内で活動の拠点がある個人及び団体から 15 件の申請があり、教育振興基金を活用した事業費の補助を行った。			
[東日本大震災教育支援金事業（震災対応分）] 2,446,000 円 ・震災で保護者を亡くした児童生徒（延べ9人）に対し、支援金及び定期金の支援を行った。			

「学校教育の充実の総括」

① 確かな学力を育む教育の推進

- ・児童生徒の資質・能力を育むために、主体的・対話的で深い学びの充実と、「指導と評価の一体化」の実現に向けた授業改善をより一層推進していく必要があります。
- ・教職員の資質向上を図るため、教育課程、教材、教育指導技術等の調査研究を行ってまいります。今後は、ＩＣＴ機器の効果的な活用が各学校において実践されるよう、ＩＣＴ支援員を活用し支援を行っていく必要があります。
- ・教員の指導力向上と児童生徒の学力向上を図るため、小中学校において教育研究、学力検査、調査研究等を行いました。引き続き児童生徒の実態を適切に捉え、教員が授業改善を図っていけるよう支援し、研修会等を開催してまいります。

② 豊かな心を育む教育の推進

- ・学校図書館支援員を活用し、学校が行う図書関連行事、読書に関する啓発活動等を行うとともに、学校図書館の環境整備を継続して行っていく必要があります。
- ・外国語指導助手を活用して、言語や異文化に対する理解を深めるとともに、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育みながら、自己肯定感を高める教育の充実を図ってまいります。

③ 健康な体を育む教育の推進

- ・児童生徒の体力や健康状態等を把握し、学校での教育活動や中学校の部活動の複数校での活動を推進し、適正人数に満たない部活動の活性化及び合同練習による技術等の向上を図ってまいります。
- ・児童生徒の保健管理を徹底するため、市内全小中学校において、安全に配慮しながら食生活の指導及び口腔衛生を実施してまいります。
- ・安全・安心な学校給食を提供できるよう共同調理場の調理設備を適正に管理し、厨房機器等の更新を行ってまいります。給食食材の地産地消を推進し、児童生徒が「宮古産の食材」への理解が深められるよう食育指導を継続してまいります。

④ 特別支援教育の充実

- ・支援が必要な児童生徒が、個々の状況に合った支援を受けるため、学校に特別支援教育支援員及び介助員を配置しております。今後も児童生徒が充実した学校生活を送る支援体制を継続する必要があります。

⑤ 相談・支援体制の充実

- ・教育研究所を中心に教師、児童生徒及び保護者に対する相談活動を実施するとともにこども家庭センターやスクールカウンセラー、医療、福祉等の専門機関と連携した細やかな対応を行ってまいります。
- ・学校支援員を配置し、一人ひとりに応じた指導を行うことで中学生の学校生活の安定を図ってまいります。また、部活動指導員を配置し、引き続き教員の勤務負担軽減と部活動指導の指導体制の充実を図ってまいります。
- ・教育相談員及び教育指導員を配置し、子どもの不登校や問題行動等に適切に対処し、家庭、地域及び関係機関との連携による教育相談体制の充実に努めてまいります。
- ・「宮古市いじめ防止基本方針」や各学校においての「いじめ防止基本方針」に従い、いじめ問題への対策のための組織的対応を促し、迅速かつ適切にいじめ問題等に対応してまいります。
- ・市内全小中学校で「魅力ある学校づくり」を展開し、子どもたちの「居場所づくりと絆づくり」に努めてまいります。

⑥ 教育環境の充実

- ・就学援助による経済的援助の推進を図ってまいります。
- ・運動部、文化部における大会出場への補助を行うことにより、児童生徒の活動の後押しをするとともに、保護者の経済的負担の軽減を図ってまいります。
- ・スクールバス及び送迎タクシーの運行により、遠距離通学となる児童生徒及びその保護者の通学に対する負担や不安の軽減を図ってまいります。
- ・児童生徒を取り巻く環境が大きく変化する中、家庭の経済的理由等により左右されることのないよう、学びを支える教育環境の充実を図ってまいります。

⑦ 学校施設・設備の充実

- ・児童生徒がよりよい教育環境で学習ができるよう、小中学校の消耗品、備品、学校図書等を整備し、教材の充実を図ってまいります。
- ・GIGAスクール構想により整備した教育用コンピュータ（タブレット端末）等のICT機器を活用した授業改善等、学びの充実を図ってまいります。
- ・児童生徒の安全、安心のため、老朽化が著しい施設の改修及び設備等の更新を行いながら、エネルギー効率の向上を図る取り組みを進め、適切な維持管理に努めてまいります。

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	①	推進体制の充実	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・関係機関・団体等との連携による「宮古市生涯学習推進本部」及び「宮古市生涯学習推進会議」を中心に、いつでも、どこでも、だれでも学習できる環境づくりを進めます。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			159,854 円
活動実績・成果			
[生涯学習推進体制の充実] ・行政、市民、団体及び関係機関と連携し、生涯学習の推進を図った。 [学習情報提供・相談体制の充実] 9,945 円 ・市内の指導者、生涯学習関連施設、学習グループ等に関する情報等をまとめた「宮古市生涯学習まなびガイド」を作成し、インターネット及び施設等を通じて情報提供を図った。 ・生涯学習関連の催しを掲載する市民カレッジニュースを発行した。（606 部/月） ・市民の自主的な学習を支援するため、学習機会や学習の場に関する相談に応じて指導者との連絡調整等を行った。 [人材の育成と成果の活用] 20,640 円 ・生涯学習ボランティアの登録を行った。 ・県主催の「地域学校協働活動推進員地区別研修講座」に参加し、地域学校協働活動推進員のスキルアップを図った。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	②	学習環境の整備	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・ 社会教育関連施設を計画的に改修等するとともに、施設間のネットワークを充実させ、市民の多様化、高度化する学習ニーズに対応する学習機会の充実を図ります。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			42,995,753 円
活動実績・成果			
[社会教育関連施設整備事業] 42,995,753 円 ・ 近内地区センターの屋外通路鉄鋼塗装、小山田地区センターの屋根雨漏り修繕を行い、安心・安全に施設を利用できるように環境整備に努めた。 ・ 図書館建物の安全確保のため、外壁改修工事を行った。 ・ 鍬ヶ崎公民館の外壁補修工事、川井生涯学習センターの玄関庇屋根漏水修繕を行った。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	③	読書まち宮古の推進	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・幅広い世代の市民が気軽に読書に親しむ「読書まち宮古」を推進します。あらゆる市民が本に親しむ拠点として、さらなる図書館サービスの充実を図ります。ブックスタート事業等の読み聞かせ活動の充実や、読書習慣の形成に向けた取り組み等、数多くの本との出会いを支援します。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			100,131,170 円
活動実績・成果			
[図書館運営事業] ・資料収集方針及び資料選定基準に従い、図書館資料選定委員会の意見を聞きながら資料の整備を行った。			
[子ども読書活動支援事業] 683,724 円 ・乳幼児の心と言葉を育む「ブックスタート事業」を実施し、乳幼児期から読書に親しむ環境の充実に努めた。 ・本の読み聞かせを行うおはなし会は、図書館本館のほか田老・新里・川井分室で実施した。			
[読書まち宮古推進事業] 99,447,446 円 ・おすすめ図書の紹介や子ども映画会、企画展等の各種読書推進事業を実施し、本に親しむ機会を提供した。本に親しむ拠点としてあらゆる市民が利用しやすい図書館サービスを充実させた。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	④	学校・家庭・地域の連携と協働	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・「地域とともにある学校」「学校を核とした地域」をつくるため、コミュニティ・スクールを推進するとともに、学校・地域・家庭が一体となった地域学校協働活動の充実を図ります。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			9,233,497 円
活動実績・成果			
[学校を核とした地域づくりの推進] 9,233,497 円 ・地域学校協働活動において、統括的地域学校協働活動推進員を配置し、普及に取り組んだ。新たに 10 校が地域学校協働本部を設置し、市内全小中学校での取り組みとなった。 ・田老・新里・川井の各実践区で取り組んでいる、地域ぐるみで子どもを育てる教育振興運動を支援した。 ・学校保健会、P T A 連合会及び教育委員会の各団体の取り組みを共有する機会として、3 者共催で「3 ライズ・ミーティング」を開催し、参加者に活動を周知した。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑤	家庭及び青少年の学習活動の支援	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・ 家庭、地域の教育力の向上を図るため、子育て等に関する学習機会の提供や相談体制づくりを進めます。心豊かな青少年を育成するため、社会全体で子どもを育てる環境づくりを支援します。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			2,714,330 円
活動実績・成果			
[家庭教育の支援] 343,732 円 ・ 子育てに役立つ知識の習得と、親同士の交流の場を提供するため、乳幼児期家庭教育学級を開催した。（年7回、延べ179人が参加） ・ 幼稚園、保育所等において行われる家庭教育学級の実施を支援した。（5学級370人が参加） ・ 小・中学校において行われる家庭教育学級の実施を支援した。（10学級724人が参加） ・ 子育ての次世代を担う高校生が、乳幼児とふれあい、子育てを学び、体験する高校生ふれあい体験事業を実施した。（高校生23人と親子16組36人が参加）			
[青少年の学習活動の支援] 2,370,598 円 ・ 姉妹都市を締結している黒石市が本市において行うリーダー研修事業に、市内の中・高校生2校10人が参加し、黒石市の中・高校生と交流した。 ・ 伝統文化の伝承や子どもと高齢者の世代間の交流を図るため、「小正月行事みずき団子ともちつき体験」を開催した。（50人が参加） ・ 放課後の子どもの安心・安全な居場所づくりのため、川井地区の小学生を対象に放課後子ども教室を年間230日開設した。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑥	成人の学習活動の支援	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・多様化する学習ニーズに応えるため、生涯を通じた学習機会の提供を行うとともに、生涯学習を通じて地域コミュニティを支える人材の確保・育成を図ります。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			2,589,510 円
活動実績・成果			
[多様な学習機会の充実] 790,727 円 ・市民の多様化・高度化するニーズに応えるため、公民館及び生涯学習センターにおいて講座及び教室を実施した。（全110回、延べ934人が参加） [社会参加活動の推進] 1,586,412 円 ・市民が自主的・自発的に学習成果を発表する機会として、公民館まつり、生涯学習センターまつり、公民館舞台部門発表会等を開催した。 ・20歳を迎える青年を励まし、社会参加の意識を啓発するため、20歳のつどいを開催した。また、式典の様子はYouTubeで生配信した。（279人が参加、出席率62.7%） ・公民館及び生涯学習センターで行う講座等のほか、地域創生センターで行われる講座等を市民カレッジニュースに掲載し、情報提供を行った。 [高齢者の学習活動の支援] 212,371 円 ・高齢者が心豊かに生きがいをもって生活することができるよう、公民館及び生涯学習センターにおいて、社会経験者大学（宮古）、ゆうゆう講座（田老）、いきいきセミナー（新里）、しらかばカレッジ（川井）等の講座及び教室を実施した。（全27回、延べ583人が参加）			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑦	生涯学習関係活動団体の支援	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・生涯学習活動や地域づくり活動を行う団体等に対して、継続的な活動と活性化が図られるよう助言や支援を行います。これらの団体と連携して、多様化する市民の価値観や学習ニーズに対応した学習機会の提供を図ります。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			581,541 円
活動実績・成果			
[生涯学習関係団体の支援] 319,000 円 ・宮古市地域婦人団体協議会及び宮古ユネスコ協会の自主的活動を支援するとともに、助言、指導を行い、団体の育成を図った。			
[自主学習グループの育成] 262,541 円 ・市民グループ等 14 団体に講師派遣を行い、自主学習を支援した。（延べ 287 人） ・市政などに関する理解を深めてもらうことを目的に、市民グループなどの要望に応じて「まちづくりふれあい講座」として市職員を派遣した。（25 講座実施、延べ 392 人が受講）			

「生涯学習の推進の総括」

① 推進体制の充実

- ・ 市内各部署で実施する事業に、それぞれ生涯学習につながる事業があります。事業の連携や統合・共同実施により、効率的・効果的に進めることができるものは積極的に連携等を進める必要があります。

② 学習環境の整備

- ・ 社会教育施設の老朽化が進んでいます。補助金等の財源を確保しながら計画的に改修工事を進めていく必要があります。

③ 読書まち宮古の推進

- ・ 蔵書冊数が図書館の収蔵能力の限界に近づいています。計画的に蔵書の入れ替えを行い、内容の更新を図っていく必要があります。
- ・ 電子図書館サービスについては、蔵書の充実に併せ、住民への周知と利用者拡大により、図書館への来館が困難な方に対するサービスを充実していく必要があります。

④ 学校・家庭・地域の連携と協働

- ・ コミュニティ・スクールと連携し、学校・地域・家庭が一体感を持ち、より良い関係を築いていくとともに、地域学校協働活動の取り組みをさらに充実させていく必要があります。

⑤ 家庭及び青少年の学習活動の支援

- ・ 乳幼児期家庭教育学級は、少子化の影響で参加者が減少しており、旧市町村地域ごとの開催が困難になっております。開催場所や開催方法について、検討する必要があります。

⑥ 成人の学習活動の支援

- ・ 公民館事業において、市民が自主的・自発的に学習成果を発表する機会として、公民館まつりや舞台部門発表会を継続して実施する必要があります。

⑦ 生涯学習関係活動団体の支援

- ・ 市民グループの学習要求に対応するため、引き続き、暮らしに身近なことをテーマにした講座を実施していく必要があります。

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	①	推進体制の充実	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・健康寿命の延伸、障がい者スポーツ等への関心の高まりに対応するため、関係団体と連携し、生涯スポーツの推進体制の充実を図ります。スポーツツーリズムによる交流人口の拡大に向けて、合宿等の誘致を推進します。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			36,038,840 円
活動実績・成果			
[スポーツ・レクリエーション推進体制整備事業] 30,987,620 円 ・各世代のスポーツ・レクリエーションの多様なニーズに対応するため、スポーツ推進委員のふれあい講座への派遣や、モルックやドッジボールの実技研修を実施した。一般財団法人宮古市体育協会が行う活動を支援し、スポーツ・レクリエーションの推進を図った。			
[スポーツ・レクリエーションの情報発信] 177,032 円 ・スポーツイベント等の情報を広報みやこやホームページ及び各種メディアを通じて発信した。「第7回全国中学生野球大会 in 岩手（Kボール）」、「早稲田大学応援部合宿」、「宮古サーモン・ハーフマラソン大会」などの各イベントを、各種メディアでの情報発信を行った。			
[スポーツツーリズム推進事業] 4,874,188 円 ・スポーツを通じた交流人口の拡大のため、首都圏の大学等との合宿相談会に参加し、合宿誘致を図った。また、誘致促進のため、宮古市で合宿を行う市外団体に対して合宿補助金による助成を行った。 ・早稲田大学応援部 190 名の合宿の受入れを行った。合宿期間中には、「宮古市ふれあい発表会」や「田老第一中学校での応援歌披露」を行い、市民に応援パフォーマンスのすばらしさを体感してもらうとともに、応援部との交流の機会を設けた。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	②	指導者等の確保・育成	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・市民の多様化する要望に応えるため、指導者の育成やスポーツリーダーバンクの充実による指導者の確保を図ります。協定を締結した大学等と連携しながら、指導力の向上を図る研修会等に取り組みます。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			1,676,210 円
活動実績・成果			
[指導者養成研修事業] 1,243,602 円 ・「陸上競技選手育成強化支援事業」として、選手、指導者を対象に「陸上クリニック」を行った。オリンピック選手や多くの優秀な陸上選手を育て、陸上競技指導者として数々の功績を残している講師を迎え全国レベルの技術指導を受けた。 ・スポーツ少年団の指導者・保護者を対象としたトレーニング講習会を行った。成長期の子供たちの身体の仕組みやトレーニング等についての指導法を習得した。			
[スポーツ推進委員研修事業] 432,608 円 ・スポーツ推進委員を対象とした各種研修会を開催した。近年市民の中でも普及しているモルックや県の協会員を派遣してのドッジボールの実技研修を実施し、推進委員のスキルの向上を図った。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	③	活動機会の提供	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・ライフステージに応じた競技会、生涯スポーツ及びスポーツ・レクリエーション活動を推進します。若者に関心が高いエクストリームスポーツ、スポーツクライミング、自然を活用したスポーツ等、新しい分野のスポーツについて、体験する活動を関係機関と連携のうえ提供します。各種大会等を開催するほか、スポーツ・レクリエーション団体の支援、総合型地域スポーツクラブの育成・普及を図ります。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			20,402,666 円
活動実績・成果			
[スポーツ・レクリエーション活動支援事業] 16,215,320 円 ・「海の日」宮古港カッターレースの開催に対して補助を行った。 ・宮古サーモン・ハーフマラソン大会の開催に対して補助を行った。 [活動機会の提供] 4,187,346 円 ・中学校の休日の部活動の地域移行や学校の合同部活動等の取り組みに関する実証事業等を行った。 6 競技（陸上競技、軟式野球、ラグビー、バレーボール、柔道、剣道）、合同トレーニング、シーカヤック体験 ・一般財団法人宮古市体育協会へ補助金による支援を行い、各競技団体の大会開催、教室開催等により振興を図った。また、「小学生ドッジボール大会」「小学生縄跳び大会」を開催した。 ・高田道場によるスポーツチャレンジ事業（「高田式体育教室－ダイヤモンドキッズカレッジ」）を親子を対象に開催した。 ・第9回宮古市長杯スナッグゴルフ大会及び第3回岩手県予選会が、一般財団法人日本ゴルフツアー機構の主催で開催された。市内の児童5名が岩手県代表選手として福島県で開催された全国大会に出場した。 ・小学校（13校）、中学校（11校）で学校開放事業を行い、年間で118,924人の利用実績があった。 [総合型地域スポーツクラブ育成・普及] ・市内の総合型地域スポーツクラブと連携して、中学校の休日の部活動の地域移行の実証事業に取り組んだ。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	④	選手の育成強化	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・ トップチーム、トップ選手の高度の技術や施設に触れる機会を提供することで、選手の意欲増進と競技力の向上を図ります。各団体が行う講習会や上位大会に進出した選手・チームの大会参加に対して支援を行います。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			5,005,000 円
活動実績・成果			
[スポーツ選手育成強化事業] 2,079,000 円 ・ 各種競技協会における育成強化事業を実施し、7つの競技団体が他県チームとの強化試合等を通じて、競技力向上を図った。 ・ 陸上競技選手育成強化支援事業を実施し、市内外の児童生徒が全国レベルの技術指導を受けた。 ・ 日本体育大学との「体育スポーツ振興協定」を活用した「ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ事業」を実施し、大学の施設等での体験を通じて、競技スポーツの底辺拡大やアスリートを目指すきっかけづくりを推進した。			
[スポーツ少年団活動等支援事業] 2,926,000 円 ・ 全国大会に出場する選手等に賞賜金を交付した。児童生徒のスポーツ活動の振興を図るため、宮古市児童生徒大会等参加費補助金により選手等に支援を行った。			
[指導体制の充実] ・ 「ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ事業」において、指導に係る知識、技術スキル等の向上を図った。			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	⑤	スポーツ環境の整備	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、体育施設を適切に維持管理します。老朽化した体育施設については、計画的に改修等を行います。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			333,925,837 円
活動実績・成果			
[体育施設改修事業] 333,925,837 円 ・姉ヶ崎サン・スポーツランドの浄化槽設置、照明LED化工事、通信情報設備（非常用放送、館内放送設備）改修工事を行った。 ・東北ヒロセ陸上競技場の倉庫設置工事を行った。 ・社会体育施設（千徳地区体育館、新里トレーニングセンター、川井トレーニングセンター、小国ゲートボール場）の照明LED化改修工事实施設計業務を行った。			
[多様化するニーズに対応する活動支援] （再掲） ・中学校の休日の部活動の地域移行や学校の合同部活動等の取り組みに関する実証事業等を行った。 6 競技（陸上競技、軟式野球、ラグビー、バレーボール、柔道、剣道） 合同トレーニング、シーカヤック体験			
[学校施設の開放事業] （再掲） ・小学校（13 校）、中学校（11 校）で学校開放事業を行い、年間で 118,924 人の利用実績があった。			

「スポーツ・レクリエーションの振興の総括」

① 推進体制の充実

- ・一般財団法人宮古市体育協会、スポーツ推進委員協議会、各種スポーツ・レクリエーション関係団体と連携・協力し、スポーツ推進体制の充実を図ります。
- ・スポーツ合宿やスポーツイベント等の誘致を図り、スポーツを通じた交流人口の拡大を推進します。

② 指導者等の確保・育成

- ・市民の多様化するニーズに対応するため、一般財団法人宮古市体育協会及び関係団体と連携・協力して研修事業の充実を図り、指導者の育成に努めます。
- ・スポーツ推進委員の活動の充実及び技術の向上を図るため、岩手県が実施する専門的な研修などにスポーツ推進委員を派遣し、専門的技術を習得し指導力の向上を図ります。

③ 活動機会の提供

- ・あらゆる市民が運動能力や障がいの有無にかかわらず、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実を図ります。
- ・中学校の休日の部活動の地域移行に向けて、学校、地域、競技団体と連携して取り組みます。

④ 選手の育成強化

- ・高度な技術に触れることができる機会を提供するとともに、優れた技術を有する指導者により、国内外の大会などで活躍できるアスリートの育成強化を図ります。
- ・大学との連携により、全国レベルのスポーツ施設や指導を子供に体験させることでアスリートの育成強化の推進を図ります。
- ・全国大会などに参加するアスリート、団体に対し、賞賜金や補助金により支援し、高いレベルを体感できる機会への参加を促進します。

⑤ スポーツ環境の整備

- ・ライフステージに応じたレクリエーション活動に親しめるよう、体育施設の適正な維持管理を行います。
- ・身近なレクリエーションの活動の場とするため、小・中学校の体育館等を開放し、有効利用を推進します。
- ・老朽化したスポーツ施設については、利用者の安全・安心を図るため、脱炭素を念頭に宮古市公共施設再配置計画（実施計画）に基づき計画的に改修などを行います。

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	4	文化の振興	担当課名
基本事業	①	芸術文化の推進	文化課
施策・基本事業の方向 ・ 市民文化会館を芸術文化活動の拠点施設と位置づけ、多くの市民が参加する市民文化祭や市民劇等市民文化会館が実施する事業を通して、市民の自主的、創造的な芸術文化活動を推進します。芸術文化団体の基盤強化や人材育成の観点から、これらの団体が行う芸術文化活動を支援します。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			412,682,181 円
活動実績・成果			
[市民文化会館管理事業] 306,012,832 円 ・ 市民の芸術文化の拠点施設である市民文化会館は、指定管理者により効果的、効率的な管理運営を行った。また、老朽化が進む施設の改修事業の一環として、屋根防水・外壁塗膜工事を完了し、大ホール天井改修工事に着手した。 ・ 大ホール天井改修工事の期間を避けて、団体鑑賞事業やみやこ市民文化祭、市民芸能まつり、みやこ郷土芸能祭の事業を実施した。			
[文化振興一般事業] 99,333,156 円 ・ 芸術文化を通じて市民に安らぎを与え、心を癒す役割を果たす事業を実施した。 （東北みやこ寄席 179 人、宮古市所蔵絵画展 113 人、みやこ市民文化祭 6,700 人）			
[文化振興一般事業【震災対応分】] 4,302,093 円 ・ 被災地復興支援に取り組むアーティストによる公演を開催した。 （N響ポケモンミニコンサート 1,071 人、佐渡裕&スーパーキッズ・オーケストラ公演 730 人）			
[心の復興事業] 3,034,100 円 ・ 多くの市民に芸術文化鑑賞の機会を提供し、震災からの「心の復興」を推進するため、みやこ復興寄席を開催した。（みやこ復興寄席 141 人）			

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施 策	4	文化の振興	担当課名
基本事業	②	文化財の保存と活用	文化課
施策・基本事業の方向 ・文化財保護法の一部改正に伴い、文化財保存活用地域計画の策定に取り組みます。市内の多種多様な文化財を、次の世代まで保存・継承を図るために、崎山貝塚縄文の森ミュージアムと北上山地民俗資料館並びに小国分館及び埋蔵文化財センターを拠点とし、文化財の調査・研究・公開に取り組みます。民俗芸能については、伝承団体への支援を継続するとともに、学校活動も含めた地域文化の映像記録保存に取り組みます。			
事務事業費（令和6年度決算見込額）			149,336,239 円
活動実績・成果			
[指定文化財保存・管理事業] 551,151 円 ・市指定文化財を適切に保存管理するために環境整備や現況確認調査、案内板の更新を行った。 ・文化財の保存・活用に関し、重要な事項を審議するため、10月及び1月に宮古市文化財保護審議会を開催した。			
[民俗芸能記録保存事業] 980,100 円 ・民俗芸能記録保存については、5件（15団体）の郷土芸能を映像に記録することができた。			
[埋蔵文化財調査事業] 40,324,891 円 ・個人住宅の建築等に伴う発掘調査を2件、試掘調査を5件実施し、期間内に調査を終了することができた。また、川井地区の川内・箱石において遺跡分布調査を実施した。 ・過年度に調査された近内中村遺跡の資料整理を行い、年度内に報告書を刊行した。また、当遺跡の出土品について、文化庁による資料調査を6月及び9月に行った。 ・埋蔵文化財センターの業務内容を体験しながら学ぶことができる「どきどき！おしごと体験」を8月に実施した（94人が参加）。 ・墓目埋蔵文化財収蔵庫の維持管理を行い、併せて収蔵資料の再整理作業を行った。			
[文化財公開・活用事業] 17,826,767 円 ・崎山貝塚縄文の森ミュージアムを拠点として、市民が歴史や文化に触れることのできる各種イベントや体験学習を実施した。（令和6年度の入館者数 4,419 人、縄文体験者数 896 人） ・「宮古市文化財保存活用地域計画」が文化庁認定を受けたことにより、計画書の公開、PDFデータ作成、印刷製本を行った。			

[崎山貝塚縄文の森公園管理事業] 35,483,326 円

- ・ 崎山貝塚縄文の森公園の環境整備を随時行い、さらに崎山貝塚縄文の森公園複合施設の各種保守点検業務を行うことで適切な維持管理を行った。

[北上山地民俗資料館運営事業] 13,747,533 円

- ・ 北上山地民俗資料館本館と小国分館を拠点に、有形民俗資料や地域の歴史や自然に触れることができる企画展や体験学習を実施した。(令和6年度の入館者数 1,857 人、各種講座やイベントの参加者 732 人)
- ・ 小国分館で所蔵している市内収集の有形民俗資料について、民俗芸能等のイベントを開催して公開した。

[北上山地民俗資料館管理事業] 40,422,471 円

- ・ 文化財用防虫剤の設置やくん蒸を行い、所蔵資料の防虫管理を行った。
- ・ 施設の空調設備改修工事を行い、キュービクルを更新した。

令和6年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画(2020-2024)			
施 策	4	文化の振興	担当課名
基本事業	③	市史の継承	文化課
施策・基本事業の方向			
・ 古文書等を収集、保存し、市史資料として後世に継承するとともに、その公開や活用を推進します。			
事務事業費(令和6年度決算見込額)			4,355,934 円
活動実績・成果			
[市史編さん事業] 4,355,934 円			
・ 4 件の古文書群(計 759 点)の資料目録を作成、整理保存した。また、延べ 11 人より新たに寄贈された史料計 82 件 96 点の目録を作成し、整理保存するとともに、デジタル化作業を行った。			

「文化の振興の総括」

① 芸術文化の推進

- ・市民の芸術文化活動の拠点施設である市民文化会館の管理運営については、指定管理者の専門性を活かした事業実施により、効果的で効率的な運営を行いました。
- ・令和8年に開館50年となる市民文化会館は、工事によるホールの利用休止を少なくするように計画的に改修を進める必要があります。

② 文化財の保存と活用

- ・文化財を次世代へ確実に継承していくために、文化財の現状把握や公開活用事業を行い、併せて「宮古市文化財保存活用地域計画」の情報発信を行いました。今後は文化財所有者、市民団体、地域民間事業者、専門家と連携した宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会の開催、重点事業の一つである「地域の宝マップ」を作成するなど、文化財の保存と活用を推進していく必要があります。
- ・崎山貝塚縄文の森ミュージアム及び北上山地民俗資料館では、市民や観光客向けに各種イベントや体験学習、企画展等を実施しました。今後はSNSを活用した積極的な情報発信や外国人観光客に対応した展示ガイドの開発を検討するなど、各施設の特色を活かした事業を展開し、来館者の満足度を向上していく必要があります。

③ 市史の継承

- ・遺品整理や空き家の解体による資料の寄贈が5件あり、令和5年度の1件に比べて増加しました。家族間における資産、特に史資料等の継承が困難な昨今の社会的情勢を反映したものと思われます。よって貴重な史資料の散逸を防ぐため、積極的な調査・収集を行う必要があると考えられます。

4 学識経験者の意見

(1) 宮古地区退職校長会 北田 正 氏

・【共通分野】教育委員会の活動状況について

総合教育会議において、宮古市教育大綱について市長と意思疎通を図る機会を設定できたことは、宮古市行政施策における教育課題の理解と共有につながり、これからの市政運営における柱として、教育振興の推進と充実が大きく位置づけられるものと期待されます。

また、教育委員会会議は年間 15 回開催し、各種教育機関の委員の委嘱並びに会議等における業務進捗状況が審議されており、市教育行政施策の堅実な推進が図られていることも確認できました。特に、医療的ケア児受け入れガイドラインや条例、規則、訓令等の改正が吟味され、時事に応じた課題対応が図られていることがわかりました。

・【専門分野】施策別の主要事務の点検、評価（学校教育の充実）

各領域の事業経費が昨年度に引き続き増え、各種支援員や相談員等の配置及び育英事業や通学委託事業等、宮古市の次代を担う人づくりのための手厚い施策が講じられており、市教育委員会の学校教育に対する期待の大きさを感じました。

地域社会の様相の変化や児童生徒数の減少等に伴い、今後も新たな教育課題が生じるものと思われます。更なる学校教育の進展と充実を図るために、課題対応に向けて方策の有効性を追求しつつ新たな視点による事業展開を期待しております。

特に、「確かな学力を育む教育の推進」に関しては、学力向上を図るために各学校と教育研究所との円滑な連携による成果が積み上げられていることが評価されます。授業改善への課題を共有しながら指導力向上の手立てに取り組み、市内共有の学力保障の姿が推進されていくことを期待します。そのために、学びの基盤力醸成の視点として、幼・小・中の連携による課題改善への継続的、発展的対応を施策にあげ、各種事業を推進していることは大変素晴らしいと思います。

次に、「豊かな心を育む教育の推進」に関しては、学校図書館支援員の配置が学校図書館の整備や読書啓発活動の推進に極めて有効な手立てとなっており、各学校における読書環境の充実に大きな成果をあげていると思われます。このことは、子どもたちの豊かな心の育成につながるとともに、併せて教員の業務負担軽減にもつながり、広い意味での学びの基盤づくりに発展するものとして高く評価したいです。今後とも学校図書館支援員の技能や視野を広げる研修を推進し、事業効果が一層図られることを期待します。

最後に、「宮古市教育委員会だより」を3ヶ月ごとに発行し、市内全世帯に配布されていることに感謝しております。このことは、宮古市民全体が児童生徒への関心を高める機会となっており、「みんなで育み、みんなで見守る宮古の子ども」への意識を醸成することにつながっていくと思われます。啓発の手段として極めて有効で

ありますので、親しみやすい表題や表紙の工夫等一層の充実、継続を期待します。

(2) 宮古市社会教育委員 井川 由貴子 氏

・【共通分野】教育委員会の活動状況について

教育委員会の活動状況について、会議の開催状況並びに審議内容から、適切に開催されていることを確認できました。

・【専門分野】施策別の主要事務の点検、評価（生涯学習の推進）

推進体制の充実については、宮古市生涯学習まなびガイドや市民カレッジニュースを通じて学びの場や機会があることを知ることができていると思います。教わりたい人教えたい人がうまくマッチングできるようになると良いと思います。

学習環境の整備については、高齢者にとって、歩ける距離に学習の場があることは生きがいにもつながると思います。財源が確保できるのであれば改修を進めてほしいと思います。

読書まち宮古の推進については、子どもの本への興味は家庭によって差が出てしまいますが、「ブックスタート事業」で、生まれてきた子どもが平等に絵本に触れる機会を得られることは良いことだと思います。

学校・家庭・地域の連携と協働、家庭及び青少年の学習活動の支援については、子どもたちが心身ともに健康な大人になるよう、家庭や地域の人たちが教育に関心をもつことは大切なことだと思いますので、地域学校協働活動や地域ぐるみで子どもを育てる教育振興運動、「3ライズ・ミーティング」等の活動が市民に浸透していくことを望みます。急激に少子化が進み、対応に苦慮しているところもあると思いますが、子どもが少ないからこそできる支援もあると思いますので早急に対応を検討し、地域みんなで子どもたちを応援していければと思います。

成人の学習活動の支援、生涯学習関係活動団体の支援については、子どもや高齢者に限らず、どの世代でも気軽に講座に参加しやすくなると良いと思います。二十歳のつどいの YouTube での発信は、祖父母からも喜ばれていて良いと思いました。地域みんなでお祝いできることは良いことだと思います。

今後も時代の変化に対応しながら企画をしていってほしいと思います。

(3) 宮古市スポーツ推進審議会 長塚 奉司 氏

・【共通分野】教育委員会の活動状況について

教育委員会の活動状況について、現行の制度上において議論すべき内容を踏まえ活動指針の策定とその実行に真摯に取り組みをなされているものと大いに評価できます。

今後においては、社会構造的な問題の少子高齢化、学校現場における働き方改革など、難題に取り組むため新たな考え方も必要になると思われます。自由闊達な意見交換や協議を重ね、未来に向かって明るい希望を持った施策の展開をお願いしま

す。

・【専門分野】施策別の主要事務の点検、評価（スポーツ・レクリエーションの振興）

推進体制の充実については、誰しものが体験でき楽しめる環境の充実が望まれると思います。人材育成事業やスポーツ関連団体との連携についての多くの取り組みが評価できます。更に裾野を拡大できるような取り組みを引き続きお願いします。

指導者等の確保・育成は、何より身近にいる指導者の充実が必要と思いますが、昨今では指導者のモラル問題等がニュースになることもあるようです。そのような課題に対しても、研修会等の機会を設けるなど取り組みをお願いします。

活動機会の提供については、各種スポーツ事業を実施する際の費用的支援の充実が望まれます。スポーツ少年団への更なる支援や、継続的なスポーツ活動を進めるための人材登用・施設充実・運営に関する支援等も続けて行くようお願いします。

選手の育成強化については、広い視野を持つような選手の育成が必要だと思います。向上心を育むために、市内での育成強化に止まらず、県内あるいは全国の場により多く参加できるような支援を望みます。

スポーツ環境の整備については、施設の適正管理に努めていると理解できますが、姉ヶ崎サン・スポーツランド（温水プール）は老朽化が進んでいると思います。小学校におけるプール授業が縮小しているとも聞きますので、より利便性の高い場所での新設検討をお願いします。

（４）宮古市文化財保護審議会 佐々木 信一 氏

・【共通分野】教育委員会の活動状況について

総合教育会議、教育委員会議（定例会・臨時会）が適正に開催され、それぞれの案件について、審議が適切に行われていたことを確認しました。

学校教育充実のため、いろいろな事業が推進されたことを確認しました。年４回発行の「宮古市教育委員会だより」は、事業について具体的な内容を知るうえで、とても参考になりました。

特別支援教育の充実、相談、支援体制の充実は重要と考えます。今後も関係機関と連携して進めてほしいと思います。

・【専門分野】施策別の主要事務の点検、評価（文化の振興）

市民文化会館は、指定管理者により効果的、効率的に運営されるとともに、市民文化祭、コンサート、寄席、絵画展などの事業実施により、市民に芸術・文化鑑賞の機会を提供できたことが確認できました。今後は、知名度のある個人や団体による演劇等の公演実施の検討も必要かと思います。

縄文の森ミュージアムや北上山地民俗資料館での企画展・各種イベント・体験学習の実施により、市民を始め多くの方々が宮古の歴史や文化に直接触れ、理解を深めることができたと思います。今後も、宮古の自然・風土・歴史・文化について、

特色ある企画をお願いします。また、県立水産科学館・北上山地民俗資料館・縄文の森ミュージアムの3館連携企画は、今後も継続してほしいと思います。その際、共通のテーマを設定し、展示に生かすことも必要かと思います。

宮古市には、たくさんの文化財があります。保存・継承はもちろんですが、宮古市文化財保存活用地域計画をもとに、各地域の特色を生かした活用方法を検討してほしいと思います。

市史編さん事業に関わり、資料の寄贈の増加は今後も予想されますし、散逸も危惧されます。調査・収集・整理・保存等を適切に進めてほしいと思います。

5 おわりに

宮古市教育委員会では、本市の最重点施策「産業立市」と「教育立市」の、まさに『教育』の一翼を担っています。

令和6年度は、宮古市総合計画（前期基本計画）と宮古市教育振興基本計画（2020-2024）の最終年度であり、本書「令和7年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書（令和6年度事業）」の作成に当たっては、個々の目標に対する計画期間内の成果を含め、その達成度合いを短く簡潔に記載しています。

令和7年度からの宮古市総合計画（後期基本計画）と宮古市教育振興基本計画（2025-2029）の各種事業に、効果的かつ的確に反映させるため、結果のみを検証することなく、そのプロセスも重要な判断材料となるようまとめています。

今後も、教育の本質を見失うことなく、本市の教育に求められている「市民一人ひとりが自分らしく生きることが出来る人づくり」を継続してまいります。

この度、外部評価員をお引き受けいただいた4名の学識経験者の皆様には、心から感謝申し上げますとともに、いただいた外部評価につきましては、今後の教育活動の改善等に活かしてまいります。ありがとうございました。